

保護者・ご家族の
皆さまへ



きゃっちボール

県立あわじ特別支援学校 相談支援部

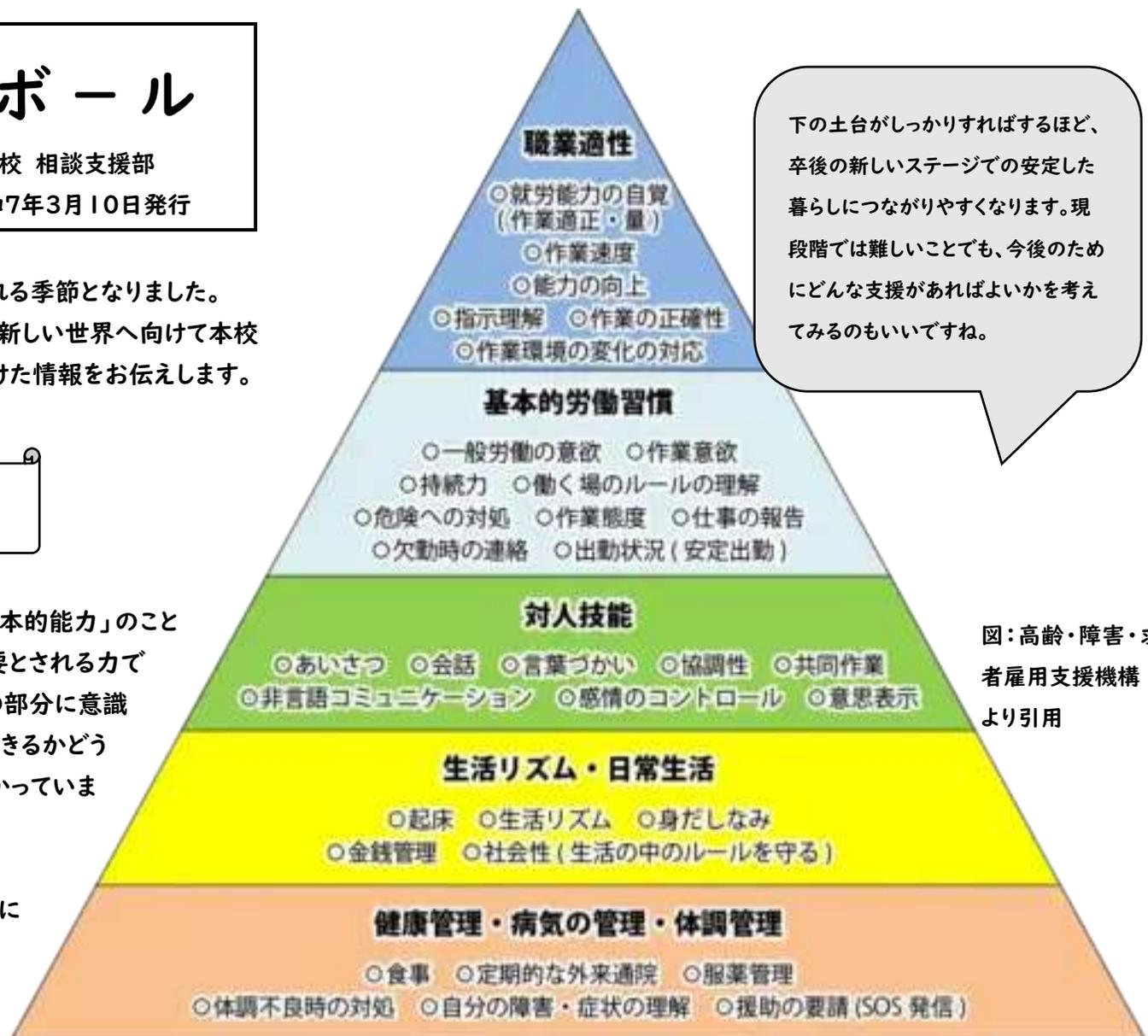
第33号 令和7年3月10日発行

長かった冬も終わりを迎え、春の息吹が感じられる季節となりました。
3月4日には卒業式があり、高等部3年生22名が新しい世界へ向けて本校
を巣立っていきました。今号では自立や就職へ向けた情報をお伝えします。

就労準備性ピラミッド

「就労準備性」とは、「就労するために必要な基本的能力」のことを指し、職種や障害の有無を問わず、働く上で必要とされる力です。「働く」というと、つい一番上の「職業適性」の部分に意識が行きがちなのですが、職業適性を実際に発揮できるかどうかは、下の「土台」の部分がどれだけ強いにかかっています。

当たり前すぎて見過ごされがちな「土台」の部分にこそ目を向け、時間をかけて意識的に育てていくことが重要です。学校ではこの部分を「自立活動」として学校生活の中で育てています。





①一定の時間に寝て起きる

就寝や起床の時間は日によって前後することがありますが、「決まった時間に仕事に向かう」ということがとても大切です。生活リズムを整え、しっかり寝ることが体調管理のためにはとても大事だという自覚も育てていけるといいですね。

②作業体力

仕事をするときは同じ作業をし続ける体力が必要です。大体一つの作業で休憩までに2時間くらいの継続が活動のベースになるそうです。それが立ち仕事の場合もあり、スポーツができる体力とはまた違った集中力や持久力が求められます。

③働くためのモチベーション

お仕事をしていると誰にでもしんどい時期はやってきます。その時にグッと踏ん張るためのモチベーションがあると強いですね。旅行へ行きたい、〇〇が欲しい、そのためにもっとお金が欲しい、などなど。



お家でも清掃にチャレンジ!

本校では、一般就労する生徒の業務内容として清掃が入ってくることが多いです。また、現場実習でも清掃を求められることがあります。雇用されると賃金が発生しますので、清掃をする場合、つるりとなでて終わり、隅にごみが残っているまま終わり、というわけにはいきませんね。



でも初めから上手にできる人はいないので大丈夫です。何度も何度もやる中で少しずつできるようになります。まずは体験の数が大事ですので、お家でも機会を見つけてチャレンジしてみてください。

- ゴム手袋、軍手を履くこと(左右、裏表を確かめられますか)
- 雑巾を絞る・作業前に濡れている手をぬぐう・水滴が落ちたら拭く
(上手に絞れても周りがびちゃびちゃ×)
- 何が汚れかが分かる(=きれいにできる)
- 隙間なく拭いたり掃いたりできる
(ZやWの拭き方からのスキルアップ)
- 身近な道具を使う経験を増やす
(はさみ、カッター、セロテープ、バケツ、雑巾、軍手、ゴム手袋など)

